

令和元年度第4回 第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会 要点録

日 時 令和2年2月13日（木）午前9時40分～午後0時10分

場 所 多摩市立図書館 本館 講座室

出 席 おはなしチャチャチャ、コアラ文庫、多摩おはなしの会、
多摩市文庫連絡協議会、つくしんぼ文庫、布の絵本サークル ピエロ、もりの文庫

欠 席 ひなたぼっこ、ひなの会

開会

（事務局）（事前配付資料、当日配付資料の確認）

1 第3回第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会要点録（案）の確認 （訂正事項）

P.2（委員からの主な意見、質問等）の次「定期的にやっているところはないが」→「定期的にやっているかどうかはわからないが」に訂正

P.4「特別おはなし会」（12行目）→「定例おはなし会」に、「定例会」（下から4行目）
→「定例おはなし会」に訂正

P.5「定例会」→「定例おはなし会」に訂正（9行目、13行目）

（会長）

訂正内容についてはこれでよいか。→了承の上、確定

2 報告・連絡事項

（1）子どもの読書活動推進に関する主な事業等について （事務局）（資料に基づき説明）

（委員からの主な意見、質問等）

- ・「ブラッシュアップ！読み聞かせ講座」に参加したが、おはなし会で疑問に思っていた点や注意すべき点などクリアに説明してくださりと、とても参考になって良い講演会だった。またあのような形で継続的にやっていただくと、とても参考になる。
- ・とても中味が濃くて一つ一つ明快に説明があったので、とても良かったと思う。
- ・とても面白かった。すでにおはなし会をやっていたり、ある程度分かっている人に向けてということで、対象者が明確になってポイントが絞れていたのが良かった。反対

に、その知識がなかったり、あまりやっていない人にはわからないこともあったのではと思った。

→（事務局）中級の「ブラッシュアップ！読み聞かせ講座」の終了後、一時間ほど、初級の「はじめてのよみきかせ講座」のフォローアップを行った。グループに分かれて本の持ち方など基本的な部分を再度確認してもらい、初級と中級両方の内容ができて、良かったと考えている。

・講座終了後のフォローアップに参加したが、初級の実演編が中級のあとにあるというのは少し変な感じがした。

→（事務局）この中級講座には、「はじめてのよみきかせ講座」を受けた方も受けていない方も参加されている。フォローアップと銘打って行ったのは、基本的には「はじめてのよみきかせ講座」を受けてから中級に参加したが、基本的なところをもう一度復習したいという人に、中級を受けた同じ日に復習できるようにと考えて行った。このようなフォローアップも必要だと考えている。

・講座は自分たちにとっては面白かったが、「はじめてのよみきかせ講座」を受けたばかりの人やほとんど経験のない人にとっては難しかったかもしれないし、どうだったかというのはわからない。多くの人に受けてもらいたいというのはわかるが、対象者はやはり明確になっている方がいいと思う。

・フォローアップの参加人数はおおよそどのくらいだったか。

→（事務局）2つのグループ合計で、20名程度であった。

(2) 第11回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》 展示会場（グリナード永山）について

（事務局）（資料に基づき説明）

（委員からの主な意見、質問等）

- ・クロネコヤマト（ヤマト運輸）は一つの企業であり、その企業のキャラクターの着ぐるみを会場に持ってくるというのは違うと思う。
- ・ネコサポステーションで図書の返却ができるということは、図書館のサービスを広げていく試みとしてはやっていいと思う。ほんともフェスタでその宣伝をすることはいいと思うが、着ぐるみでオープニングお楽しみ会などの集客をすることはヤマト運輸との協定の範囲を超えているのではないかと思う。
- ・グリナード永山の展示は、図書館とボランティアが協力して主催しているイベントなので、そこで着ぐるみが宣伝するというのはおかしいと思う。宣伝や集客はどのような形になるのか。

→（事務局）着ぐるみに来てもらえたら、オープニングお楽しみ会が30分ずつあるので、その間に会場に居てもらい、返却ボックスの説明もする。目立つので子

どもも寄ってくるし、結果的に多くの人にオープニングお楽しみ会を楽しんでもらえるのであれば、それは良いことではないかと考えている。

- ・その企業の宣伝として存在しているキャラクターの着ぐるみが、ほんとにもフェスタの宣伝に絡んでくるのはどうなのか。
- ・ネコサポステーションの返却ボックスを置いたり宣伝したりするのはいいが、会場に着ぐるみを登場させるのはどうなのか疑問に思う。
- ・ここで結論は出せないと思うが、市民ボランティア連絡会からこういう意見が出たということで、主催者である図書館には、着ぐるみの扱いについてもう一度検討していただきたい。

(会長)

会場に着ぐるみが来て返却ボックスの宣伝をすることについて異論はなく、宣伝をして人目につくのもよいが、ほんとにもフェスタの宣伝までするのは違うのではないか、という意見を言うておくこととする。

(事務局)

着ぐるみが来るかどうかは、手配の関係もあり、未定である。ヤマト運輸側では、着ぐるみが来られない場合はそのスタッフがこの案内をするということも考えている。着ぐるみが来る場合はどういう風にするか、こちらも考えていきたい。

(委員からの主な意見、質問等)

- ・着ぐるみが来るか来ないかにかかわらず、返却ボックスの宣伝だけに限るようにし、図書館側の人寄せには使わないように、きちんと線引きをしてほしいと思う。

(会長)

そういう意見が出たということで、よろしく願いしたい。

また、グリナード永山展示会場でのご案内について、現時点では協力団体のいない空白の時間帯があるが、これはどのようにするのか。

(事務局)

ご協力いただくのは個人の方でも構わないので、ぜひこちらまでご連絡をいただければ大変ありがたい。日程の調整をさせていただきたい。

(委員からの主な意見、質問等)

- ・参加の連絡は、展示が始まる間際になってもよいのか。
→ (事務局) もしかしたら他の人が手伝ってくださることになっているかもしれないが、可能になった段階でも結構なので、ご連絡いただけるとありがたい。
- ・3つの団体が重なっている時間帯があるが、これは調整しないのか。
→ (事務局) ご指摘のとおり、重なっているところがあったので、こちらの方で各団体と連絡を取りながら、調整させていただきたい。

3 意見交換

(1) 令和元年度アクションプラン【図書館・関係課分】【多摩市立小・中学校分】について

(事務局) (資料に基づき説明)

(2) 令和元年度 多摩市立図書館の主な取り組み

(事務局) (資料に基づき説明)

(委員からの主な意見、質問等)

- ・アクションプランの冊子の中に網掛けになっている部分があるが、これはどういう意味か。

→ (事務局) 網掛けになっている部分は、ひとつは「再掲」という意味がある。後半に行けば行くほど網掛けが多くなっていると思うが、これは、すでに同じ項目が前に載っているので省略する、という意味で網掛けにしている。また、図書館・関係課分の冊子の2ページでは、学校が記入する項目のため答える必要がない、という意味で網掛けにしている。他に小中学校分の冊子では、こちらで行ったアンケートの結果を載せている網掛け部分(84ページ)や、学校が単独で書けない内容のため、こういうことをしますというコメント入りで網掛けにしている部分(89ページ)もある。

(会長)

アクションプランの冊子の見方について説明が後になったので、事前に見てもよく分からないところがあった。アクションプランについて意見を言えるのはボランティア団体が関わっているところであり、それ以外の部分はこういうことをしているのだという共有になると思うが、これについてなにかあるか。

(事務局)

この市民ボランティア連絡会の所掌事務では、第三次計画の推進状況について議論していただくということがあるので、今後このような冊子をなるべく早くお届けするようにしたい。各項目について、図書館・関係課、学校の取り組みを見て頂いて、色々のご意見等をいただきたい。

(委員からの主な意見、質問等)

- ・学校でのおはなし会について、各学校がどういうふうに考えているのかを見て、学校の捉え方というのは色々なのだなと感じた。
- ・図書館が併設されていない児童館でのおはなし会を行っているが、図書館は、地域図書館が併設されていない児童館で、何をどういうふうに行うとしているのか。ボランティアを巻き込んでやろうとしている体制づくりが出来ていない中で、どういうふうに行うとしているのかがよくわからない。

→ (事務局) 児童館や学童クラブでの読み聞かせや図書館のPRについては、現段階

で令和元年度版のプランと多少動きは違うが、まずは試行的に、来月諏訪児童館で市内のボランティアの協力団体にご協力をいただきながら、おはなし会と 5 分程度の図書館の PR をすることになった。試行的にやってみて、課題や今後このような取り組みをどうやって広げていけるかを考えていきたい。各団体の方もご協力いただければ、ぜひそのような形でご協力いただきたいと思っている。

- ・アクションプラン（図書館・関係課分）の 23 ページ②に「学校のおはなし会をボランティアと協働して開催するとともに、各学校の状況を学校間で共有できるようにする」とあるが、各学校の状況はどうなっているのか。

→（事務局）平成 30 年度は何も行っておらず、令和元年度については、アクションプランの記載通り、各学校の実施状況調査を行った。現在これを集計中であり、まだ結果は出ていない。アクションプランでは、令和 2 年度に、その集計結果を学校へ提供する計画となっている。

- ・アクションプラン（図書館・関係課分）の 63 ページ【新規事項】「多摩市立図書館におけるボランティア活動についての受け入れや支援等についての方針を定める」「ボランティア希望者の受け入れ態勢の整備」について、振り返りが「D」で「他市の状況についての情報収集にとどまった」となっているが、どういう結果になったのか。また、ボランティアの位置づけはまだ固まっていないのか。

→（事務局）「D」は、実施しなかったということである。昨年度は日常の活動の中での情報収集であった。ただ、図書館で行っている主催講座のボランティア参加人数などは多く、そういった中から活動に繋がってほしいと思っている。そういうことも含めて色々な手法を考えたい。今までのように団体の方だけの活動ではなく、もう少し幅広く考えたほうがよいと思っているが、具体的な案までには至っていない。ボランティアの位置づけについても、まだこれからである。

- ・自分たちの団体に関わっている学校のおはなし会のところを読んでみて、学校側と自分たちの団体で、捉え方が少し違うと感じるところがあった。ではそれを今後どうしていくかということを今日議論するのは、難しいと思う。

（会長）

今この中で意見を言うのは、なかなか難しい。意見は私たちボランティアが関わっている部分でないと言えない。私たちは、ボランティアが関わっていない部分についてはこういうことをしているのだと認識するくらいで、例えばそこで何か方針が違うなどと言う立場にはない。ボランティアが関わっている部分を、もう少しそれぞれが読んでから話をしないといけないと思う。これで議論が終わりとなると、気づかなかつたり見過ごしてしまったりすることがあるかもしれない。次回の議題にもよるが、また次回に議論する時間は取れるか。

→（事務局）次回の会議は 5 月下旬を予定しているが、アクションプランの令和 2 年度版はその時にはまだ出来ていない。次回の議題は、ほんとにもフェスタの振り返りと、

ほんとにフェスタやイベントも含めた今後の在り方を中心に考えている。令和元年度版のアクションプランは、これはこれで見て頂いて構わないが、今年度の振り返りが入った新しいものが出来上がるので、新しい情報をもとにご利用いただくのがいいかと思う。

(委員からの主な意見、質問等)

- ・アクションプラン全体のことを市民連絡会の中で議論するというのは難しいが、5月の時期に皆で議論をすることは大事だと思っている。ボランティアが関わる中で、現状や課題、今後どうしていくか等を議論するときに、これが大事な資料になるので、参考にしながら議論していくものと捉えておけばよいか。

→(事務局) その通りである。また、この市民ボランティア連絡会から、この会議でこの項目について議論していきたいというような提案を頂いても良いと思っている。

(会長)

では、皆さんお忙しいとは思いますが、次回までにこれを読んでボランティアが関わっているところをピックアップしていただき、この部分はどうするか、こういうふうに進めたらいいのではないかということをそれぞれ考えてみて、こういうことをやりたい等の意見があれば、4月中に事務局の方へご連絡いただきたい。次回の会議でも少し時間を設けていただき、それぞれがもっと読んだ状態でまた話し合うこととしたい。

4 情報交換及び次回日程について

次回日程

令和2年5月21日(木) 午前9:40～12:00

情報交換

- ・布の絵本サークル ピエロ

布の絵本展(5月30日開催)の準備や案内等の協力依頼

→布の絵本サークル ピエロと多摩市立図書館の連名で、市民ボランティア連絡会の皆さん宛てに、協力依頼文書を出す。

- ・文庫連絡協議会より資料配布

文庫連だより 12月号、1月号、2月号

「第32回文庫展 子どもと本の広場」(お話し会・講座) チラシ

映画「あの日のオルガン」を深める(講座) チラシ

多摩市に中央図書館をつくる会ニュース

- ・ 図書館

ほんともフェスタの講演会の申し込みを受付中。希望者は早目にお申し込みを。

閉会

(午後 0 時 1 0 分終了)